

平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 東
 コード番号 3776 URL http://www.bbtower.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 藤原 洋
 CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	19,866	18.3	544	△23.2	562	△0.8	215	28.4
25年6月期第3四半期	16,791	41.9	709	60.6	567	35.7	167	△8.2

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 252百万円(10.5%) 25年6月期第3四半期 228百万円(1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	4.96	4.94
25年6月期第3四半期	3.87	3.87

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	11,703	5,956	46.9
25年6月期	11,701	5,764	45.6

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 5,487百万円 25年6月期 5,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	250.00	—	1.00	1.50
26年6月期	—	0.50	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	1.00	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。平成25年6月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	6.3	640	△35.1	640	△24.3	240	△18.1	5.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年6月期3Q	51,459,000株	25年6月期	51,437,000株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	7,980,000株	25年6月期	7,980,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年6月期3Q	43,464,700株	25年6月期3Q	43,399,204株

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済政策によって円安・株高が進行し、緩やかな景気回復の兆しが見られるものの、円安による原材料価格の上昇や、本年（平成26年）4月からの消費税率の引き上げによる個人消費低迷の懸念、新興国における経済成長の減速等、企業を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、コンピュータプラットフォーム事業におきましては、第1四半期連結会計期間よりサービス区分を再編し、株式会社ITコアより譲受した仮想化クラウドサービス「GrowServer」と、太陽光発電事業への参入を契機にスマート・エネルギーが第1四半期連結会計期間から新たなサービスとして加わりました。

また、ファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、連結子会社である株式会社ビービーエフ（以下、ビービーエフ）及びその子会社である株式会社ブランチ・アウト（以下、ブランチ・アウト）を中心に引き続き売り上げの拡大に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業におきましては、サービス区分を再編し、データセンター、クラウド・ソリューション、データ・ソリューション、スマート・エネルギー及びその他・海外事業に分けて展開しております。

データセンターでは、当社が保有する都心を主体とするデータセンターの占有率が約90%近くに達しており、また、一部解約も生じ、同サービスの業績としては、伸び悩んでおります。そこで、今後の成長のために、ヤフー株式会社の100%子会社である株式会社IDCフロンティアと共同事業を行い、ヤフーグループが保有する白河（福島県）と北九州（福岡県）のデータセンターを再販することで合意し、営業活動を開始しました。

クラウド・ソリューションでは、当社独自のc9サービスの展開に加え、このたび株式会社ITコアより譲受した仮想化クラウドサービス「GrowServer」を当社の新たなサービスとして提供しております。また、当第3四半期より、多様なクラウド環境に柔軟に追加できるセキュリティサービス「BBTowerクラウドセキュリティサービス」の提供を開始いたしました。

データ・ソリューションでは、主力の米EMC社の大容量ストレージの販売に努めてまいりましたが、新規案件の受注不足等により計画よりも減少いたしました。一方、EC市場の拡大やスマートフォンの普及に伴い、決済手段が多様化し、多様化に対応した決済ソリューションのニーズが高まってきています。また、データセンター事業、クラウド事業の提供を行っている当社は、決済市場の更なる拡大を見越して、決済ビジネス向けのデバイス、アプリケーションやシステム開発等のソリューション提供を行うために、平成25年8月に100%子会社の株式会社Lyudia（以下、Lyudia）を設立し、営業活動を開始いたしました。なお、Lyudiaでは、平成25年12月に、決済端末機器ソリューションにおいて世界最大シェアを誇るIngenico S.A.と日本国内における総代理店契約を締結し、本年3月には、株式会社日本カードネットワークが提供する次期モバイルカード決済端末（モバイル型JET-S端末）について、Ingenico社の国内総代理店であるLyudiaと機器売買契約を締結いたしました。

第1四半期連結会計期間から新たに加わりましたスマート・エネルギーでは、山口県防府市での太陽光発電事業を開始し、順調に推移しております。

その他・海外事業では、米国ハワイ州の共同事業先、DRFortress社のホノルルのデータセンターの営業活動を開始いたしました。

この結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は5,882百万円（前年同四半期比5.8%減少）、営業利益は257百万円（前年同四半期比16.4%減少）となりました。

一方、ファッションビジネスプラットフォーム事業におきましては、ビービーエフが行うファッションブランドのECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援事業及びブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しており、ファッション業界のバリューチェーンにおいて様々な機能を提供しております。

ECシステム構築支援・運用サービスでは、ブランドオフィシャルECサイト制作から受発注システム構築・運用、倉庫業務、商品配送業務まで、インターネット、携帯、スマートフォンを活用した通信販売に必要となるプラットフォームを一括して提供しております。期首より見込んでおりました既存大手顧客の解約の影響はあるものの、他の大手顧客との取引は順調に拡大しており、また、新規顧客も順調に獲得できております。本年3月末時点におけるサイト数は80サイトとなりました。

TVショッピング支援事業では、株式会社QVCジャパンを中心とするTV通信販売会社とファッションメーカーとを繋ぎ、商品企画、在庫・生産管理から販売に至るまでを支援する事を可能としております。既存取引については、比較的堅調に推移してはおりますが、当初見込んでおりました取引拡大までには至っておりません。

ファッションホールセールサービスでは、ブランチ・アウトが大手小売店に対し、衣料品の販売・企画・デザイン・製造・生産管理を一貫して行っております。昨年夏から秋にかけての天候の影響によ

り、株式会社しまむらを中心とする大手小売店への売り上げが伸びず、また、昨年秋からの急激な円安の影響により原価が急激に上昇した結果、利益を圧迫してきております。

この結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は13,983百万円（前年同四半期比32.6%増加）となりました。一方、上述の要因により、営業利益は281百万円（前年同四半期比29.2%減少）となりました。

以上の事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は19,866百万円（前年同四半期比18.3%増加）、営業利益は544百万円（前年同四半期比23.2%減少）、経常利益は562百万円（前年同四半期比0.8%減少）、四半期純利益は215百万円（前年同四半期比28.4%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、11,703百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少771百万円、有価証券の減少299百万円等の減少要因に対し、受取手形及び売掛金の増加361百万円、商品及び製品の増加399百万円及び太陽光発電設備等の取得による有形固定資産の増加263百万円等の増加要因があったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ189百万円減少し、5,747百万円となりました。これは主に、買掛金の増加240百万円、未払法人税等の減少263百万円及び借入金の減少63百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し、5,956百万円となりました。これは主に、四半期純利益215百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当65百万円及び少数株主持分の増加36百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月7日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結累計期間において、当社第二サイトの一部フロアを解約することを決定いたしました。これにより、解約に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、この決定に伴い、当該フロアのデータセンターサービス契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ35,774千円減少しております

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,913,131	2,141,886
受取手形及び売掛金	2,747,586	3,109,274
有価証券	999,921	699,955
商品及び製品	556,450	955,957
繰延税金資産	112,289	135,861
その他	204,149	311,786
貸倒引当金	△2,948	△4,556
流動資産合計	7,530,580	7,350,166
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	871,327	658,959
機械及び装置(純額)	285,981	798,528
工具、器具及び備品(純額)	340,270	311,649
土地	1,078	1,078
リース資産(純額)	17,872	12,585
建設仮勘定	5,612	2,686
有形固定資産合計	1,522,144	1,785,487
無形固定資産		
のれん	936,452	910,522
その他	205,960	236,070
無形固定資産合計	1,142,412	1,146,593
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,506,449	1,422,206
貸倒引当金	△455	△455
投資その他の資産合計	1,505,994	1,421,751
固定資産合計	4,170,551	4,353,832
資産合計	11,701,131	11,703,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,133,197	2,373,873
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	525,000	608,000
未払金	159,543	192,258
未払法人税等	342,350	79,282
前受金	298,189	273,260
賞与引当金	72,885	106,704
役員賞与引当金	2,000	—
返品調整引当金	2,465	1,096
資産除去債務	45,372	36,732
その他	218,988	98,750
流動負債合計	3,799,991	3,869,957
固定負債		
長期借入金	1,475,000	1,229,000
退職給付引当金	18,410	22,439
役員退職慰労引当金	83,333	158,333
資産除去債務	547,744	459,408
その他	12,548	8,583
固定負債合計	2,137,036	1,877,764
負債合計	5,937,027	5,747,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,326,005	2,327,074
資本剰余金	2,309,293	2,310,362
利益剰余金	2,927,078	3,077,642
自己株式	△2,228,332	△2,228,332
株主資本合計	5,334,045	5,486,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802	772
その他の包括利益累計額合計	802	772
新株予約権	29,613	32,213
少数株主持分	399,643	436,544
純資産合計	5,764,104	5,956,277
負債純資産合計	11,701,131	11,703,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	16,791,734	19,866,564
売上原価	13,942,834	16,543,906
売上総利益	2,848,900	3,322,657
販売費及び一般管理費	2,139,848	2,778,353
営業利益	709,051	544,304
営業外収益		
受取利息	938	1,961
受取配当金	69	162
出資金運用益	—	7,576
業務受託手数料	4,046	43,053
還付加算金	2,003	—
その他	2,605	1,980
営業外収益合計	9,663	54,734
営業外費用		
支払利息	34,214	34,274
出資金評価損	1,475	—
支払手数料	92,500	—
その他	23,154	2,187
営業外費用合計	151,344	36,461
経常利益	567,371	562,577
特別利益		
新株予約権戻入益	124	124
特別利益合計	124	124
特別損失		
固定資産除却損	9,556	—
投資有価証券評価損	83,763	—
特別損失合計	93,319	—
税金等調整前四半期純利益	474,176	562,702
法人税、住民税及び事業税	251,436	205,179
法人税等調整額	△590	104,842
法人税等合計	250,845	310,022
少数株主損益調整前四半期純利益	223,330	252,679
少数株主利益	55,331	36,922
四半期純利益	167,999	215,757

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223,330	252,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,903	△51
繰延ヘッジ損益	1,380	—
その他の包括利益合計	5,283	△51
四半期包括利益	228,614	252,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,461	215,728
少数株主に係る四半期包括利益	56,153	36,900

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータ プラットフォーム 事業	ファッションビジ ネスプラットフォーム 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,247,521	10,544,212	16,791,734	—	16,791,734
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,262	2,250	14,512	△14,512	—
計	6,259,783	10,546,462	16,806,246	△14,512	16,791,734
セグメント利益	308,549	397,830	706,379	2,672	709,051

(注) 1 セグメント利益の調整額2,672千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、平成24年8月22日付で株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社としたことにより、セグメント資産が3,674,940千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッションビジネスプラットフォーム事業」において、株式会社ブランチ・アウト・デザインの全株式を取得し、同社及びその子会社である株式会社ブランチ・アウトを連結子会社といたしました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において991,538千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータプラットフォーム事業	ファッションビジネスプラットフォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,882,989	13,983,574	19,866,564	—	19,866,564
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,463	1,736	14,200	△14,200	—
計	5,895,453	13,985,311	19,880,764	△14,200	19,866,564
セグメント利益	257,963	281,784	539,748	4,556	544,304

(注) 1 セグメント利益の調整額4,556千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

「コンピュータプラットフォーム事業」において、太陽光発電設備を取得したことにより、セグメント資産が536,900千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンピュータプラットフォーム事業」において、株式会社ITコアより仮想化クラウドホスティング事業（『GrowServer』サービス）を譲受けました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において121,893千円であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	前年同期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	5,882,989	△5.8
ファッションビジネスプラットフォーム事業	13,983,574	+32.6
合計	19,866,564	+18.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社しまむら	2,593,430	15.4	3,573,245	18.0
株式会社QVCジャパン	3,183,632	19.0	3,317,727	16.7
ヤフー株式会社	3,376,596	20.1	3,023,907	15.2

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。